

社長のひとりごと【高齢者住宅】

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ



さて、日本人の退職後の『夢』とは いったいなんでしょう

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

asahiglobal.co.jp
global-mie.co.jp
super-chintai.com
agg-hd.co.jp
goldtrust.co.jp
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

答えは、①海外旅行。できればロン
グステイ。次に②別荘での第2の生活
でした。

このアンケート結果は、条件として
お金があるとか、ないとか関係なく、
ご本人達の希望をお聞きすると、こ
の2つが退職後の『人生でやりたいこ
と』『夢です。』と答えが出たと言っ
てことです。

団塊世代とは1947年、48年、
49年の人で800万人もいるので
す。ちなみに2005年の出生者は1
09万人ですが、1949年には26
8万人が生まれています。

私は51年生まれの56才ですから、
2年程はありますが、思い出せば
小学校でも6クラスぐらいありまし
たね。言葉は悪いですが、ウジヤウジヤ
子供達はいたのです。それが今は、小
学校も1クラスか2クラスしかあり
ません。

高齢化よりも、本当はこの少子化
が日本の問題であって、子供の数さえ
増えてくれれば、何の問題もないの
です……。

さてこの2つの『老後の夢』は私も
同じですね。一生懸命に働いてきて、日
本の経済を発展させ、税金をまじめ
に支払って日本をささえてきた人達

です。経済的に許されれば、長期の海
外旅行がしたい。もう1つ住まいを持
つて、第2の生活を始めたい。と現実
に願っています。

私はこの2ヶ月間だけでも、タイベ
トナム・香港・モンゴルを4週間程、旅
行していました。目的は『土地を買
うこと』ですね。安くていい土地を買
つて、高齢者専用の立派な住宅をつ
くこと。そして、皆さんにその住宅に
住んでもらいたいと計画しています。

ずっと日本を離れていると淋しいの
で、1年間の内、3ヶ月でも、9ヶ月で
も、季節のいい時に、海外に住んで、お
正月とか、お盆とか、好きな時に日本
に帰ってくれば子供達や親戚や友人
にも、何の迷惑もかかりませんね。

介護が必要になった時でも、海外で
も安心して生活できること。車イス
でも飛行機は全然、大丈夫なので、日
本へもいつでも帰れます。

と言うことで、私の計画している、
海外での移住生活は自立及び介護の
必要な老人の『老後の夢』の2つを二
度で実現させてまいります。

要するに言葉の問題もなく、海外
に長期滞在できること。そしてその
家が自分の第2の住宅で、別荘です
から、第2の楽しい生活が実現できま

す。

付け加えて申し上げれば、淋しく
ない様に、日本へも時々帰って来て、子
供達や孫や友人にも会えますね。逆
に日本のお孫さんや友人を海外の自
分の家に招くこともできるのです。

私はこの計画は、大賛成で、まず自
分で実行いたします。でなければ、人
にすすめられませんね。健康な方も
介護の必要な方も利用できる様にす
るのが、この海外の高齢者住宅のポイ
ントです。

さて、経済的に問題ですが、二戸で
500万円ぐらいの価格なら、問題な
いのではないのでしょうか。そしてフィリ
ピンの例でお話すると、1ヶ月の食
事と介護と医療をすべてつけて、月5
万円です。往復の飛行機代も、
6万円ですから、安いですね。

フィリピンでのお医者さんの月給が
6万円。銀行の支店長でも10万円だ
すから、月5万円を支払えば『夢』は
実現できます。

私はこの高齢者の住宅を、国内や
海外にたくさん作ります。日本経済
をささえた高齢者の皆さんが、大切
にされ、元気に楽しく生活できるよ
うに、全力で努力をします。ご期待
ください。